

アンケートのまとめ

第5回会議で説明させていただいた「今後の遠山川等について」の内容につきまして、次回会議に先立ち委員の皆様から事前にご意見を伺った内容をまとめました。

目標（基本理念）「人・自然・文化のハーモニー！ 奏でつづける遠山川」実現のために

- 1 「ハーモニー」には、協働の意味を含めたいという説明をさせていただきましたが、どのような取組方法等が考えられるか、また、地域としてどのような取組を行っていく方がよいか、ご意見やご提案があればご記入ください。

具体的な活動例として、地域の皆様による維持管理（草刈り、雑木除去、河畔林管理、清掃等）やその取り組みとして「川のアダプトプログラム」等を活用してはどうかという話をさせていただきました。

- 遠山郷いい川づくり会議の対象エリアに限らず、上村川・遠山川に付随する施設及び住環境保護のため、河床低下、水衝部の浸食に万全の防止対策を要望します。
- 今回指定された河川区域はこれまで地区公民館活動の一環として、草刈り、ゴミ拾いなどは行ってきましたが、これを各自治会活動の事業として定着させ、住民にもっと河川管理の重要性を理解させることも大切と思います。
- 今の委員の中でそれぞれの分野ごとに年間の計画を企て、観光、清掃、子供の遊び所を定期的に見回り、南信濃の代表的な遠山川として小学生から高齢者までお互いに責任をもっていくようにすることが望ましいと思います。
- 地域内の大切な自然の中に有る遠山川の流れは、地域の人達にとっては子供のころより親しんだ川であり、またこの地域のシンボルであります。
今後共私達は維持管理等出来る事は自分達で少しでも力を出し合ってやっていきたいと思っています。
- 高齢者クラブは社会奉仕活動で春と秋、堤防の草刈り等を行っています。
橋南橋北分館やゴミゼロ運動等々、一年間の事業計画に盛り込んでいただき地域みんなの協力の必要性を、会議に出席された委員の方々は各団体の長でありますから会合集集に積極的に話題として出していただき、アピールすることは必要であり役目だと思えます。
- 毎年まちづくり委員会の各地区でゴミゼロ運動を実施しているが、最近ではゴミが少なく有名無実化している。今回の河川改修地区は、橋北、橋南地区の管轄下に入るので、ゴミゼロ運動の内容を変更し、草刈り、雑木除去等、河川の維持管理に重点を置いていくべきと考えます。そのために上記2地区を含めて、まちづくり委員会との協議を行うべきと考えます。

- ・公民館和田橋北分館では10年程前から、夏の帰省客や児童の川遊びが出来る様に中橋から振興センター、更には中学校裏の河川の草刈りや雑木除去作業を行って（7月）います。

橋南地区でも夏の一斉河川清掃（道づくり作業）9折、中橋下の左右岸の草刈りや、ヘリポート周辺の草刈りを行っています。継続して行う様には努めていますが、将来的な労力（ボランティア）の高齢化等が課題かと思えます。他に、桜を守る会、辰巳会等が随時周辺の整備を行っています、人の減少、高齢化です。

地区全体でのボランティア等、外来者の応援を視野に入れてはと考えます。

- ・長野県「川のアダプトプログラム」は道路における「信州ふるさとの道ふれあい事業（アダプトシステム）」の河川版と思われませんが、道路においては近隣市町村でも参加されており、地域と行政が一体となって環境整備するという点では良いシステムだと思えます。
- ・一番大切な事は、調和と和合→できる、素晴らしい、美しい、遠山川であってほしい。河津桜、ソメイヨシノ（桜）等の並木通り整備を強化。観光面からも必要とおもいます。

2 「奏でつづける」には、点検やモニタリング等の意味を含めたいという説明をさせていただきましたが、どのような取組方法等が考えられるか、ご意見やご提案があればご記入ください。

具体的な活動例として、行政と地域の方で出水後点検、施設点検（修繕、状況確認）、整備状況確認（工事中のモニタリング、施設整備後のモニタリング）を行ってはどうかという話をさせていただきました。

- 南部建設事務所に御世話になり、中橋の橋脚に巨石を設置、B&G裏のヘリポートなどを復旧して頂き感謝している。
中橋下に河床低下が見られる、その周辺に河床測定器などを設置して住民に感心を持って頂くことが良いのではないかと。
- 四季を通じて、春は桜、夏は水遊び、秋は紅葉、冬は雪見と霜月祭り。（煙火）かぐらの湯を中心に全地域住民が取り組んで行くことです。
- 特に出水後の点検、また通年の状況確認、整備状況等、たえず役所等と連絡を密に取り合っていくつもりです。御願ひ致します。
- 地域の中には専門的技術の優れた方々がおられると思います。行政一体となって、と思います。
- 点検、モニタリングは重要なので、少人数のモニタリングチームを設け、継続的に実施していくべきと思います。
- 必要だと思います。河川環境パトロール等の役職の人達を含めて、まちづくり委員会の（建設災害委員）等が事業として取り組む事かと思います。
- これまで地域の主要な地位の方に参加いただいて整備計画を策定してきたことを考えれば、①工事中の確認（帯工、側方浸食対策の基礎の状況など）、②整備完成後の施設確認、③出水後の点検、④定期点検（3～5年周期）等を行い、整備した施設の効果の確認を行い、その後の施設整備や修繕の計画に役立てる（地域の意見を聞きながら）ことが良いと考えます。
- 奏でる→霜月まつり（舞を舞う）があり、いつまでも奏でつづける。『自信をもつ』そのためには、モニタリングを行い、意見や批判等を提出していただき、反映していく事が必要です。

地域の皆様へのお知らせと今後の遠山川を考えること

- 1 この3月をもって基本計画ができあがります。また、基本計画を基に具体的な設計を進めて参りますが、地域の多くの皆様へこの事業や内容等について広くお知らせすることについて、どのように行っていったらよいか、ご意見やご提案があればご記入ください。

- ・遠山川は常に災害と向き合っていかなければならない。そこで、昭和40年9月の集中豪雨による大災害を再確認させ、安全な河川管理の啓蒙を行い、災害は忘れた頃にやってくる事を住民に周知する事を行う必要があると思います。
- ・まちづくりの広報、ケーブルテレビ、地方新聞を通じて広く地域外にも向けて協力する事が良いと思います。
- ・南信濃、まちづくり委員会の会報、また公民館の館報等に一緒に事業内容等、またこれまでの経過のあり方等を回覧として地域内に広める。また地域内の広報放送で回覧の事を知らせてもらえばよいかと思います。
- ・皆様のご意見を聞いたり、自分の考えも取り上げて頂いたり、今までになかった体験をさせて頂き、初めての不安が回を重ねるごとに楽しみも含めた感動を与えて頂きました。なんとなく見えていた景色も違った見方になり、頭の中で自分なりの創造で楽しませて頂きました。
遠山で生まれて育ち、現在も当地で生活している者として、36年災害40年災害の荒れ狂う川の水の怖さを体験しただけに、今の穏やかな遠山川の流れと風景がいつまでも変わることなく、を願い早期着工を望みます。
- ・要点のみを簡潔にまとめ、自治会の回覧網で衆知すればよいのではないのでしょうか。より詳しく知りたい方は、自治振興センターで対応すればと思います。
- ・ウォーキング、ランニング、サイクリングのコース（どれか一つでもよい）として誘う。
- ・看板を掲示する。（景観にマッチした）全体像がわかるものを2〜3箇所。
- ・運動、散歩を奨めながら、河川の景観、親水をいざなう。
- ・目標物、何百米、何kg米の印標を設定、設置してはどうか。
- ・お知らせ方法は、①公聴会の開催、②各地区代表者へ説明後代表者による区民への説明、③回覧などが考えられますが、直接、事務所の方から説明する方が良いと考え、①を推奨します。
- ・整備状況を説明するため、機会をつくってほしい。遠山郷いい川づくりのメンバーを始め、地域住民にも知らせて、報告会をお願い致します。
- ・放送（広報）を使う事、全戸への通知、自治会を通じてPRする事も大切に思います。

2 今回の事業期間（概ね5カ年）終了後、今回のような取組の結果、事業としてどうだったかを評価したいと考えております。今後の遠山川を考えていくにあたり、今回のような会議の開催など、どのような方法で行ったらよいかについて、ご意見やご提案があればご記入ください。

- 住民のパブリックコメントをとることも大切であるが、これには労力と時間がかかり、御苦労様でした。
しかし、建設事務所の基本計画を先に2, 3案出して頂き、これに基づいて議論していく方法もあっても良いと思う。
- 今回は県の指導も頂き、行政と共にこの会を残して月に一回の会議を開いて意見交換をしたら、続けて行くことが望ましい。
- 今回の様な方法が大変良かったと感じました。
地域の皆様が多数の意見を出し合い、今までの様な行政まかせで無かった事が大変良かったと思います。
- 当地区で女性の団体が赤十字奉仕団だけですが、出来ることなら同世代でなくても話し合える相手がほしかったかなと思いました。
ほとんどの団体2年後は役員交代となります。
- 終了後は、今回の会議と同じ構成メンバーでもって、事業としてどうだったか、その後の将来へ向けての取り組み方を含めて、評価、反省を行うべきである。
- 時移り人は変わっても、遠山川は流れ、現状の河川景観、更には自然、生物がさらに増える様に定期的に検討、検証は大事だと思います。まず人選については、現在の役職での選出部分と公募と云う方法での有職者への委議で構成し、設問(2)でもあったが、満水、豪雨の後、等、年2回程を開催。
- これまで地域の主要な地位の方に参加いただいて整備計画を策定してきたことを考えれば、事業評価についても今回と同様のメンバーが参加して会議体で実施した方が良いと考えます。
- (基本理念) 「人・自然・文化のハーモニー！奏でつづける遠山川」実現のために、上記にのべたように報告会及び遠山川を愛しつづけるためにも講演会の企画もおねがいできれば
- 下伊那南部建設事務所の熱意に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。今後ともよろしく願い致します。特に保育園から小学生、中学生にアンケートや夢をみさせていただきありがとうございました。川にしたしみやすいように！